

医療と福祉を考える会

正しい知識があれば恐れる必要はない

7 月 26 日、県立塚口病院において医療と福祉を考える会を開催。同病院皮膚科部長の田邊洋先生が「疥癬と白癬」をテーマに講演を行ない、看護師や訪問ヘルパーなど 31 人が参加した。

田邊先生は、「菌はとても身近なものであり、恐れる必要がない」、「菌が付着したからといって、すぐに感染し症状がでるわけではない」として、介護や看護の現場では、手洗いを徹底して清潔に保つことが感染や拡大の防止につながると呼びかけた。

また疥癬には、「通常疥癬」と「角化型疥癬」の 2 つの種類があり、角化型疥癬は特に感染力が強く、施設などでは洗濯や掃除を丁寧に行う必要があることを強調した。



田邊先生の軽快な口調に笑いが絶えなかった

感想文

在宅介護のサービスを終えて、慌てて塚口病院に着いた時には 5 分遅刻で、駆け上がったときには部屋からの笑い声に一瞬部屋を間違ったのかと思いました。中に入ると田邊先生のお話が始まっており、関西の漫才に来ているかと錯覚するくらいに、わかりやすく、おもしろくお話ししていただき、楽しい勉強会でした。

私は介護福祉士の免許は持っていますが、現場のケースはそれぞれ違い、看護師さんの方が入っている利用者様は、看護師さんの指示を仰げばいいのですが、ヘルパーのみの利用者様の方は、いかに自分の知識が重要かを感じます。水虫の種類を知って説明がきちんと出来れば、病院嫌いの方でも薬を塗ってみようと思ってもらえると思います。在宅介護の利用者様にとって、一番身近な存在であり、知識が重要かを改めて感じました。

真菌と細菌の違い、真菌は消毒液では効かないなどを知り、受診をすることが大切だと思いました。そのときには塚口病院の田邊先生の所に相談に是非行きたいです。家に帰ってから、主人の使っているナイロンタオルを綿にかえ、健康サンダルは処分しました。中でも通常疥癬と角化型疥癬の違いを知り、通常のヘルパーサービスでもサービス拒否がある方は入浴を嫌がられ、不衛生になり、肌の落屑がある方もおられ、やはり衛生的な生活に近づける様な援助や声かけが大切に思います。今日の勉強会で知った事をヘルパーさんに伝え、今後の利用者様との介護の中で、よりよいサービスが出来るように上手く使っていこうと思います。ありがとうございました。

〈介護福祉士 高山良子〉

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

335 号

2012 年 8 月 25 日付

〒660-0055 尼崎市稲葉元町 2-11-10 八木クリニック内
 兵庫県保険医協会尼崎支部 TEL06-6417-6600 FAX06-6417-6011

第 41 回
支部総会

「未来の安全のために原発をゼロに」



挨拶する八木支部長

7 月 21 日、サンシビック尼崎にて第 41 回尼崎支部総会を開催し、記念企画の映画「100,000 年後の安全」上映会に 54 人が参加した。

同映画は、フィンランドで原発から生まれる放射性廃棄物を 10 万年間、埋蔵するための処分場建設を題材としている。これから 10 万年もの未来にわたって住み続ける人々に危険性を訴え続けることはで

きるのかという問題を通して、未来の地球の安全について問いかけている。淡々とした語り口と映像が、参加者に重い現実を突きつけた。

総会では、2012 年度の方針が採択された（役員一覧と活動方針を 2 ページに掲載）。



エネルギー問題についてあらためて考える契機となった

感想文

映画「100,000 年後の安全」を鑑賞して

世界で 20 ～ 30 万トンもの使用済み核燃料が最終処分場のないまま生み出されているが、人間の技術では無害化を出来ないのが原発の水槽で貯蔵している。無害になるまで 10 万年から 100 万年を要すると言われている中、10 年は持つかもしれないが 100 年、1000 年の保証はない。

フィンランドは安定した岩盤深くに世界初の処分場オンカロを建設中であるが、後の人々に危険なものであることが伝えられるかどうかは答えがないという。

地震国の日本にはオンカロのような処分場の適地はないと云われ、元々原発は日本に適さない、造ってはいけなものを造り、福島原発事故は起こるべくして起きたのだと思った。

第 2、第 3 の事故を防ぐ安全の保証も福島原発事故の原因究明もないまま、国民の安全を守るはずの牧野経済産業副大臣がつきっきりで大飯原発を再稼働した。

猛毒の核燃料廃棄物を未来の人々に残し続けてはならない、国民的運動を進めて原発ゼロの日本を一日も早く実現しなければと心を駆られま。

〈尼崎市 藤岡 東洋雄〉

2012 年度活動方針

1. 審査・指導、経営対策など新規開業医を対象とした懇談会などの開催で、支部幹事会への新規開業医の参加を図るとともに、勤務医会員の拡大にも力を入れ支部活動への参加を促し、幹事会を一層活性化していく。
2. 地域医療・介護を支える現場スタッフの力量向上を目指して、「医療と福祉を考える会」を開催する。
3. 在宅医療点数研究会や介護保険に関する研究会などを企画する。
4. 医師、歯科医師をはじめ、職員も参加対象とした医科歯科連携に役立つ研究会を企画する。
5. 住民の要望に基づき復興住宅での健康教室や健康と医療について語り合う会を開催する。
6. 職員対象の保険請求事務講習会や接遇研修会、医療安全管理研修会などを企画する。
7. 医療や福祉・介護保険等の改善、充実を求める尼崎社保協や民主市政の会など支部加盟団体の活動に積極的に取り組む。
8. 「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」に結集し、被害者救済と企業・国の責任追及に取り組む。特に、国・企業の責任を追及するためにアスベスト尼崎訴訟を支援する。
9. 「県立塚口病院の充実と尼崎市及び阪神地域の医療を考える会 (通称・県塚の会) 」の活動に積極的に参加し、尼崎及び阪神地域の医療を守る運動を住民とともに展開していく。
10. 「あまがさき 9 条の会」をはじめ、市内の地域 9 条の会に協力し、平和憲法を守る活動に参加する。
11. 会員間の交流を深める文化行事を企画する。
12. 支部ニュースの毎月発行に努める。

兵庫県保険医協会尼崎支部役員 (敬称略・五十音順) 11 ～ 12 年度

【支 部 長】	八 木 秀 満			
【副支部長】	綿 谷 茂 樹 (筆 頭)	大 塚 誠 治	大 原 知 樹	
【支部幹事】	西 原 弘 道 (主 任)	朝 田 真 司	阿 部 勝 也	今 北 正 道
	高 光 重	合 志 明 彦	鈴 木 克 司	高 田 正
	立 石 順	長 谷 川 吉 昭	畠 中 正 昭	藤 岡 一 郎
	細 見 基 信	堀 尾 俊 治	本 田 稔	前 田 重 人
	増 田 勉	町 塚 博 文	松 田 哲 一	両 角 隆 一
	山 内 道 士	山 下 秀 明	行 松 信 孝	
【参 与】	合 志 至 誠	森 本 和 夫	横 田 友 二	

兵庫県保険医協会役員 (敬称略・五十音順) 11 ～ 12 年度

【理 事】	西 原 弘 道	八 木 秀 満	綿 谷 茂 樹	
【名誉理事長】	合 志 至 誠			
【評 議 員】	大 原 知 樹	高 田 正	谷 川 博 信	長 谷 川 吉 昭
	畠 中 正 昭	前 田 重 人	町 塚 博 文	山 下 秀 明
【予備評議員】	大 塚 誠 治	高 光 重	鈴 木 克 司	堀 尾 俊 治
【歯科】	阿 部 勝 也	富 澤 洪 基		

アスベスト訴訟

クボタの責任を認める画期的判決



判決後の報告集会には多くの支援者が集まった

尼崎市内のクボタ旧神崎工場周辺でアスベストによる中皮腫を発症し死亡したとして 2 遺族がクボタと国を相手に謝罪と損害賠償を訴えていた裁判の判決が 8 月 7 日に行われた。

判決は、原告の一人についてクボタの責任を認め、損害賠償を命じる判決を言い渡した。同判決について訴訟弁護団は、「クボタの石綿が原因であることを明確に認め、クボタからの石綿飛散が住民環境を汚染していたことを明らかにした。我が国で初めて公害としてクボタの法的責任を認めた点に大きな意義を有する」と述べ、

画期的なものであることを指摘した。

一方、判決は国についてアスベストの危険性を知りながら使用禁止を遅らせて被害を拡大させた責任を認めなかった。

今日まで工場周辺住民 200 人以上が死亡しているが、同社は因果関係を認めていない。さらに 20 ～ 50 年という潜伏期間を考慮すれば今後も発症者が増えることが確実である。

船越正信先生 (「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」 会長・尼崎医療生協理事長) は、判決後に開かれた報告集会で「アスベストは尼崎だけでなく全国どこでもおこる問題。判決は全国のアスベストのたたかいを励ますものだが、国の責任を認めず、一遺族についてクボタの責任を認定しなかった。思いを新たに引き続き高裁での支援を強めよう」と述べた。

協会尼崎支部は「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」に参加、八木秀満支部長が同会代表委員をつとめ、署名運動など訴訟の支援を行ってきた。「会」では、68,000 筆の署名を神戸地裁に提出、支援の輪が広がる中で今回の判決を勝ち取った。会員の皆様には、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

健康情報テレホンサービス 通話料無料 (0120) 979-451
＜ 9 月のテーマ ＞

※ 9 月 1 日 - 2 日は 8 月金土日のテーマを放送
17 日と 22 日の祝日は金土日のテーマを放送

月曜日	セックスレス夫婦へのアドバイス	
火曜日	パーキンソン病の日常生活とリハビリ	
水曜日	Hib (ヒブ) ワクチンと小児肺炎球菌ワクチン	※ テレホンサービスは、協会ホームページでもご覧いただけます。既放送分も掲載しています。
木曜日	鼻づまりとその合併症	
金土日	夜ぐっすり眠るために	http://www.hhk.jp/